



## 2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月5日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプ (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	39,398	5.4	564	51.4	682	43.8	497	73.2
2022年5月期第3四半期	37,383	△0.8	373	△22.3	474	△17.6	287	△30.9

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 459百万円 (29.1%) 2022年5月期第3四半期 355百万円 (△36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	43.06	—
2022年5月期第3四半期	24.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	42,435	22,599	53.3	1,970.41
2022年5月期	48,932	22,645	46.3	1,956.51

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 22,599百万円 2022年5月期 22,645百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	11.00	—	18.00	29.00
2023年5月期	—	11.00	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	18.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,500	1.3	1,850	0.8	1,950	2.1	1,250	△4.0	108.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	11,772,626株	2022年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	303,408株	2022年5月期	198,197株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	11,561,031株	2022年5月期3Q	11,662,764株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2023年5月期3Q 66,600株、2022年5月期 66,600株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2023年5月期3Q 66,600株、2022年5月期3Q 68,920株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年6月1日～2023年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限緩和により社会経済活動が正常化へ向かうプラス要因がある一方、原材料価格や光熱費の高騰、物価上昇が景気下押し圧力となるなど、不透明な状況が継続しております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、資源・穀物価格高騰に伴い肥料・飼料・資材・光熱費が値上がりし、廃業する酪農家が多発するなど農家の経営は厳しさを増しております。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業の業績が堅調に推移したことにより、売上高393億98百万円で前年同期比20億14百万円(5.4%)の増収となり、利益面でも、営業利益5億64百万円で前年同期比1億91百万円(51.4%)増、経常利益6億82百万円で前年同期比2億8百万円(43.8%)増、親会社株主に帰属する四半期純利益4億97百万円で前年同期比2億10百万円(73.2%)増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 種苗事業

種苗事業においては、野菜種子の輸出でタマネギ・ネギの販売が堅調に推移したことや円安による価格上昇もあり海外向け販売が堅調な推移となりました。また、野菜種子及び牧草種子の仕入コスト上昇に伴い販売価格を見直したことなどにより、売上高55億13百万円で前年同期比4.6%の増収となりました。利益面では、品質が低下した野菜種子の廃棄を進めたことや、牧草種子で円安等に伴う仕入単価の上昇を販売単価に転嫁しきれなかったことから、セグメント利益4億55百万円で前年同期比23.4%減となりました。

#### 花き事業

花き事業においては、営利栽培農家向けのカーネーション苗やユーストマ種子の販売が増加したほか、肥料の値上げ前受注及び苗生産用オリジナル培土の販売が増加したものの、コロナ禍の巣ごもり需要の反動減や一部商品の販売ルートが他社に移ったことにより、売上高42億81百万円で前年同期比5.2%の減収となりました。利益面でも、減収による売上利益額の減少及び国内外出張旅費の増加等により、セグメント損失1億63百万円(前年同期のセグメント損失は1億30百万円)で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

#### 農材事業

農材事業においては、主要取扱い商品である農薬が、資源価格高騰を反映して値上げとなりました。それに対応して値上げ前購入需要が発生したことにより、売上高194億92百万円で前年同期比12.1%の増収となり、利益面でも、セグメント利益8億13百万円で前年同期比102.4%増となりました。

#### 施設材事業

施設材事業においては、原料価格にスライドする形で農業用フィルムや鉄製品等農業資材の販売価格が上昇する増収要因があったものの、当該価格上昇が農家の買い控えや設備投資意欲の減退を招いたことから販売量は減少し、売上高101億9百万円で前年同期比1.0%の減収となり、利益面でも、セグメント利益2億4百万円で前年同期比12.0%減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、424億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して64億97百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、198億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して64億50百万円減少いたしました。これは主に買掛金の減少によるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金の減少、また、「負債の部」における買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、225億99百万円となり、前連結会計年度末と比較して微減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月12日の「2022年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,109,988	4,080,570
受取手形及び売掛金	21,909,529	14,208,626
商品	9,165,220	11,677,879
未収入金	2,025,776	1,183,986
その他	325,594	810,317
貸倒引当金	△21,972	△13,984
流動資産合計	38,514,137	31,947,396
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,993,961	3,998,821
その他(純額)	2,624,778	2,729,556
有形固定資産合計	6,618,740	6,728,377
無形固定資産		
投資その他の資産	898,471	765,588
その他	2,907,809	3,013,130
貸倒引当金	△6,559	△18,980
投資その他の資産合計	2,901,250	2,994,149
固定資産合計	10,418,461	10,488,116
資産合計	48,932,599	42,435,513
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,602,856	15,904,081
短期借入金	—	880,000
未払法人税等	250,013	7,152
その他	1,797,473	1,394,200
流動負債合計	24,650,342	18,185,433
固定負債		
退職給付に係る負債	1,292,668	1,286,804
役員株式給付引当金	51,958	66,358
その他	291,847	297,588
固定負債合計	1,636,474	1,650,751
負債合計	26,286,817	19,836,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	18,632,298	18,792,499
自己株式	△276,921	△445,408
株主資本合計	21,611,868	21,603,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,000,036	953,771
為替換算調整勘定	△13,803	△10,567
退職給付に係る調整累計額	47,439	52,270
その他の包括利益累計額合計	1,033,673	995,473
非支配株主持分	240	272
純資産合計	22,645,781	22,599,328
負債純資産合計	48,932,599	42,435,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	37,383,893	39,398,015
売上原価	31,414,610	33,296,456
売上総利益	5,969,283	6,101,558
販売費及び一般管理費	5,596,217	5,536,857
営業利益	373,065	564,700
営業外収益		
受取配当金	35,551	47,589
受取家賃	52,400	51,052
為替差益	—	7,077
その他	34,705	22,870
営業外収益合計	122,657	128,590
営業外費用		
支払利息	8,948	9,026
為替差損	11,686	—
その他	298	1,365
営業外費用合計	20,933	10,392
経常利益	474,789	682,898
特別利益		
固定資産売却益	—	261
特別利益合計	—	261
特別損失		
固定資産処分損	46,399	4,722
固定資産売却損	—	2,250
減損損失	5,400	—
特別損失合計	51,799	6,973
税金等調整前四半期純利益	422,990	676,187
法人税等	135,527	178,364
四半期純利益	287,463	497,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,417	497,790

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	287,463	497,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,191	△46,265
為替換算調整勘定	△4,175	3,235
退職給付に係る調整額	19,451	4,830
その他の包括利益合計	68,468	△38,199
四半期包括利益	355,931	459,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,886	459,587
非支配株主に係る四半期包括利益	44	34



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年6月1日至2022年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,272,057	4,514,307	17,384,309	10,213,219	37,383,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,219	610	—	—	24,830
計	5,296,277	4,514,918	17,384,309	10,213,219	37,408,724
セグメント利益又は損失(△)	594,580	△130,915	401,856	232,185	1,097,707

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,097,707
全社費用(注)	△724,641
四半期連結損益計算書の営業利益	373,065

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、一部の資産の使用を停止したため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,400千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,513,805	4,281,338	19,492,951	10,109,919	39,398,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,513,805	4,281,338	19,492,951	10,109,919	39,398,015
セグメント利益又は損失(△)	455,443	△163,795	813,170	204,432	1,309,250

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,309,250
全社費用(注)	△744,550
四半期連結損益計算書の営業利益	564,700

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。